

平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	236	沖縄らしい風景づくり促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア		
担当部課名	土木建築部都市計画・モノレール課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄らしい風景づくり		
事業内容	普遍的観光資源である沖縄独特の風景・まちなみ景観の創生を図ることを目的に、風景づくりに係る地域人材の育成、県実施公共事業に係る景観評価システムの本格運用の支援を行う。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> （平成30年度）						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他（ ）						
予算額・執行額 【単位：千円】		27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	29年度	
	(a) 当初予算額	73,982	0	52,100	0	23,480	
	(b) 予算現額	74,364	0	58,970	0	23,480	
	(c) 増減額 (b-a)	382	0	6,870	0	0	
	(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—	
	A. 計 (b+d)	74,364	0	58,970	0	23,480	
	B. 執行済額	73,904	0	55,305	0	23,141	
	うち交付金充当額	59,123	0	44,244	0	18,513	
	C. 次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)	99.4%	#DIV/0!	93.8%	#DIV/0!	98.6%	
予算の状況の説明	<p>・予算額は人材育成、景観評価システム本格運用の委託料及び旅費等の経費を計上したところであり、平成29年度は人材育成に係る講習・研修の実施、景観評価システムの本格運用を実施した。</p> <p>・執行率は98.6%であり、景観評価システム対象事業数の減に伴う不用額等が発生したことによるものである。</p>						
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム開催	目標	1回	1回	1回	—	
		実績	1回	1回	1回	—	
	地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成の実施	目標	6回(6地区)	6回(6地区)	6回(6地区)	6回(6地区)	
		実績	6回(6地区)	6回(6地区)	6回(6地区)	6回(6地区)	
	地域の景観活動への指導・助言・コーディネート等に係るスキルアップ研修開催数	目標	4回	4回	4回	—	
		実績	4回	7回	5回	—	
	景観に配慮された社会資本整備を行うための景観評価システム本格運用	目標	試行実施	試行実施	試行実施	本格運用10件	
		実績	試行実施	試行実施	試行実施	本格運用9件	
景観向上に係る技術開発件数	目標	1件	1件	1件	—		
	実績	1件	1件	1件	—		
達成状況説明	<p>・地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成を実施した。</p> <p>・道路、河川、営繕、港湾、海岸分野において景観評価システムの本格運用を開始した。</p>						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(24年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	県民の風景づくりに対する意識向上に向けたシンポジウム参加者数	目標	200人	200人	200人	—	—
		実績	362人	214人	189人	—	—
	地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材数	目標	—	60人(6地区)	60人(6地区)	60人(6地区)	—
		実績	—	407人(6地区)	301人(6地区)	457人(6地区)	—
	地域の景観活動への指導・助言・コーディネート等に係るスキルアップ研修受講者数	目標	—	50人	50人	—	—
		実績	—	214人	189人	—	—
	景観評価システム本格運用により景観配慮設計等を行った事業数	目標	—	10件	8件	10件	—
		実績	—	10件	7件	9件	—
	景観向上に係る技術開発件数	目標	—	1件	1件	—	—
実績		—	1件	1件	—	—	

	【H30成果目標】 取組を実施した地域において、沖縄独特の風景・まちなみ景観であると感じるかを含め（80%以上）、当該事業のあり方をアンケート調査により検証	目 標					80%
	【H30成果目標】 景観アドバイス会議を開催し、同会議の助言を沖縄県景観評価委員会へ報告	目 標					開催・報告
	進捗状況説明	<p>・景観評価システムの成果目標である本格運用事業数については、実績値が9件で未達成となっている。達成できなかった主な理由は、対象事業の選定や進捗について担当課との調整に時間を要したことによるものである。</p> <p>・地域の景観向上への取り組みをリードする地域人材育成を6地区で実施したところ、延べ457人が参加し、目標を達成することができた。</p>					

H29-No.236

	推進上の留意点（推進上の問題、外部環境の変化）	改善余地の検証（効率の更なる向上の視点）
取組の検証	<p>・多くの地域住民は、風景・まちなみづくりへの関心が低いとの市町村からの意見もあり、地域景観協議会の設立には至っておらず、風景づくりに係る人材育成後、育成された人材が活動を実施できる体制が整備されていない。</p> <p>・平成28年度までに実施した景観評価システムの試行事業における設計者等から判断すると、県内は景観設計の十分な経験及び技術力をもつコンサルタントが少なく、県内技術者の育成なしではシステムの本格運用に支障をきたすことが分かってきている。</p> <p>・沿道景観向上に係る技術研究開発について、経済的な制約の下、植栽等の効率的な維持管理と美観維持に貢献する景観形成を両立させることが重要である。</p>	<p>・人材育成事業等による各地区での研修実施や、シンポジウム等による普及啓発を継続し、景観への関心を高めるとともに、住民と地元景観行政団体との連携強化を図る。</p> <p>・県内建設産業の活性化及び円滑な景観評価システムの実施に向けて、県内コンサルタントに景観に対する技術を習得させる必要があるため、景観設計ができる専門家の育成に向けた検討を行う。</p> <p>・沿道景観向上に係る技術研究開発について、効率的な雑草抑制と景観向上の両立が経済性の観点から重要であることから、道路維持管理業務の発注形態やイニシャルコストとランニングコストを含めたトータルコスト等の検討を行う。</p>

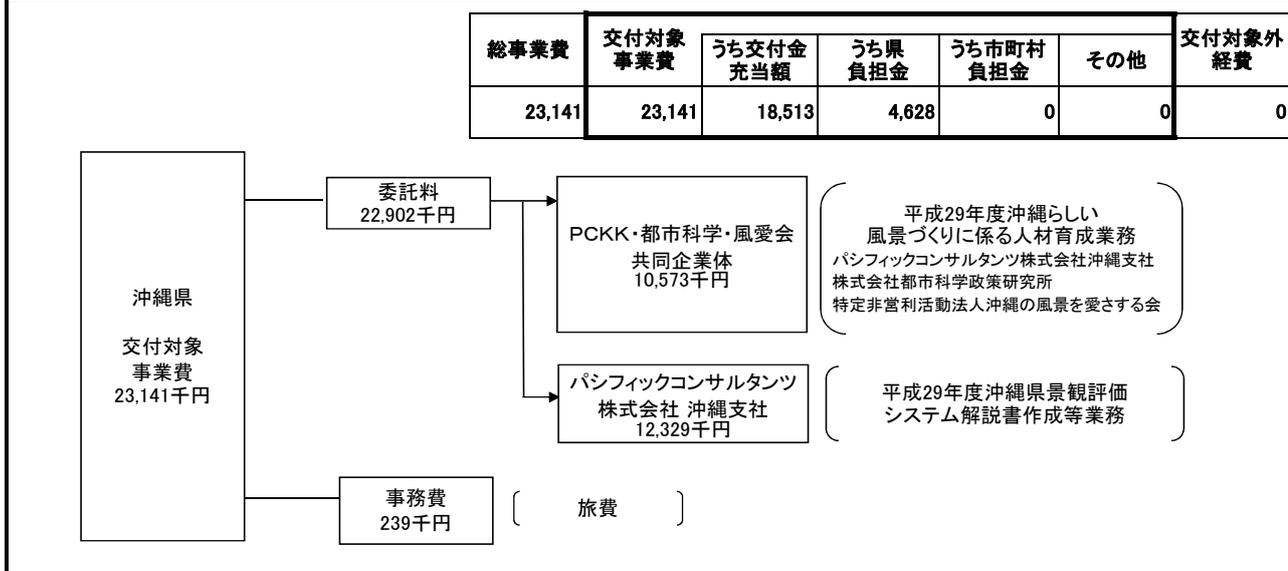
今後の取り組み方針

・育成された人材が活動できる機会、場を創出するため、各地区でワークショップを開催するなど、地域景観協議会等の設立に向けて引き続き取り組んでいく。

・景観評価システムの円滑な運用に向け、景観検討の前年度から担当課との連携強化を図る。また、引き続き景観に配慮した建築、土木等の設計・施工を行う人材を育成するため、県外の専門家等による研修会を実施する。

・沿道景観向上に係る技術研究開発について、道路維持管理業務の発注形態やイニシャルコストとランニングコストを含めたトータルコスト等の検討を行うため、土木事務所担当者等を交えたフォローアップ会議を開催する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○受託事業者は公募型プロポーザル方式により企画提案内容、実施体制、実績等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、事業目的達成の観点から必要なものを実施し、完了後の検査を実施することで、支出内容の確認を行っている。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

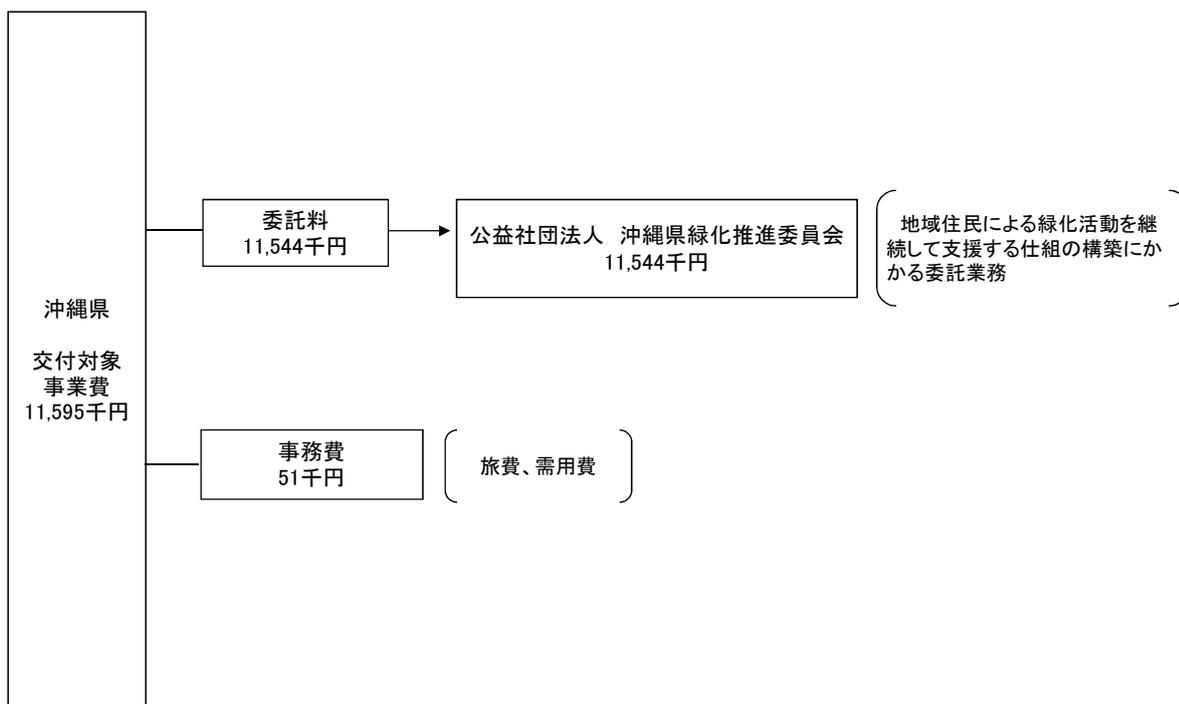
平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	40	沖縄グリーンプロモーション事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ			
担当部課名	環境部環境再生課	事業実施(予定)年度	平成 26 ~ 29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	花と緑あふれる県土の形成		
事業内容	沖縄らしい「花と緑の名所づくり」の拡大・促進を図るため、地域住民による緑化活動を継続して支援する仕組みを構築する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(平成30年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】		27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	29年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	18,339	—	27,726	—	12,666
		(b)予算現額	18,339	—	27,726	—	12,666
		(c)増減額(b-a)	0	—	0	—	0
		(d)前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A.計(b+d)	18,339	—	27,726	—	12,666
	B.執行済額		18,062	—	27,673	—	11,595
	うち交付金充当額		14,450	—	22,138	—	9,276
	C.次年度繰越額		—	—	—	—	—
	執行率(%) (B/A)		98.5%	—	99.8%	—	91.5%
予算の状況の説明		<ul style="list-style-type: none"> ・予算額は、地域住民等による緑化活動を継続して支援する仕組みの強化等にかかる委託料のほか事務費等の経費を計上したところであり、平成28年度に比べ15,060千円減額となっているのは、「花と緑の名所づくり補助金」を減としたことによるものである。 ・執行率は91.5%であり、主に委託料の執行残が発生したことによるものである。 					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	緑化活動支援	目標	—	—	—	3団体	
実績		—	—	—	5地区		
達成状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・当初、本島・宮古・八重山のそれぞれで緑化活動の支援を行う3団体を想定していたが、中間支援団体の一つとし、本島(北部・中部・南部)・宮古・八重山の5地区において複数の緑化活動団体へ支援を行ったことから、実績を5地区とした。 ・5地区において開催した技術講習会において他の活動団体の活動事例を紹介することで、良好な景観形成に寄与するほか、維持管理労力の軽減につながる植栽配置など、花と緑であふれる県土の形成に資する取組ができた。 						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(24年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30・33年度)
	花苗等の生産:105,000本(35,000×3団体)	目標	—	—	—	105,000	—
		実績	—	—	—	91,135	—
	【参考指標】 県民による緑化活動件数	目標	55件	増加	増加	増加	65件
		実績	55件	59件	60件	61件	—
【H30成果目標】 地域住民による緑化活動を支援する団体数	目標	—	—	—	—	3団体	
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標である花苗等の生産(配布)については、緑化活動団体の活動状況を考慮し、配布種類や数量を変更したことにより、91,135本となり、概ね達成した。 ・活動団体に配布した苗は、福祉事業所等により生産された苗を活用したものであり、障がい者の就労支援にも繋がった。 ・地域住民による緑化活動を継続的に支援する仕組みとして、樹木医や造園業者など専門的な知識を有する方を登録し、相談があった場合などに派遣し課題を解決する仕組みを構築することができた。 						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木医や造園業者などの専門家の登録数が、活動団体数に対して少ない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家の登録人数を増加させていく。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・樹木医や造園業者などの専門家に対して登録を促すために関係機関と連携し、周知・PRを行う。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	うち交付金充当額	うち県負担金	うち市町村負担金	その他	交付対象外経費
11,595	11,595	9,276	2,319	0	0	0



資金の流れ、費目・用途の点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は、公募型プロポーザル方式により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

平成29年度沖縄振興特別推進交付金事業（県分）検証シート【公表用】

事業番号・事業名	223	沖縄フラワーケーション事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-イ			
担当部課名	土木建築部道路管理課	事業実施(予定)年度	平成 24 ~ 33 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	花と緑あふれる県土の形成		
事業内容	観光地沖縄の魅力を増大するため、観光地への主要アクセス道路等において花木等を設置し、花と緑のある良好な道路空間を創出する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】		27年度	27年度(繰越)	28年度	28年度(繰越)	29年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	490,000	0	490,000	0	520,000
		(b) 予算現額	490,000	0	710,000	0	520,000
		(c) 増減額(b-a)	0	0	220,000	0	0
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	—
		A. 計(b+d)	490,000	0	710,000	0	520,000
	B. 執行済額		489,910	0	707,684	0	519,995
	うち交付金充当額		391,928	0	566,147	0	415,996
	C. 次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	#DIV/0!	99.7%	#DIV/0!	100.0%
予算の状況の説明		・執行率は100.0%であり、入札差金による不用額(約0.5万円)が発生したことによる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H29活動目標(指標)		達成状況				
	花の飾花・環境整備		26年度	27年度	28年度	29年度	
		目標	32路線	41路線	41路線	41路線	
		実績	27路線	40路線	41路線	41路線	
		目標					
	実績						
達成状況説明	・平成29年度は、目標の41路線に対してコンテナの飾花等の植栽管理業務を委託する形で事業を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H29成果目標(指標)		基準値(25年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(30年度)
	沖縄らしい道路緑化に対する観光客の満足度	目標	—	85%	85%	90%	—
		実績	82%	95%	88%	97%	—
	【参考指標】 観光アクセス道路の緑化延長	目標	17.5km	52.5km	70.0km	70.0km	72.5km
		実績	45.0km	60.0km	70.0km	70.0km	—
	【H30成果目標】 観光地への主要道路としてふさわしい道路景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。	目標					80%
進捗状況説明		・観光地へのアクセス道路41路線において、年間を通してコンテナ飾花や草花の植付等による道路緑化を行い、観光客の満足度97%と目標を達成することができた。 ※観光客の満足度は、アンケート調査により把握(観光地へのアクセス道路等で実施している草花等の植栽状況の写真を提示し、回答を得ている。)					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・沖縄観光のイメージアップのため、観光地までの主要アクセス道路について、年間を通して花と緑のある良好な道路空間を創出し、道路景観の向上と維持させる取り組みが求められている。</p>	<p>・年間を通して花や道路植栽を良好に保つためには、気候や周辺環境に応じた花木や草花を選定し、適切な育成点検や灌水を行うことが重要である。</p>
今後の取り組み方針		
<p>・定期的なパトロール等により生育・開花の状況を継続的に確認し、植栽箇所の環境条件に応じた適切な花木や草花を各季節で開花できるように選定や管理方法、育成点検、灌水手法について検証し、各土木事務所や造園業者と連携して改善策を検討しながら、品質確保と向上を図っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

沖縄県 交付対象 事業費 519,995千円	総事業費	交付対象 事業費	うち交付金 充当額	うち県 負担金	うち市町村 負担金	その他	交付対象外 経費
	519,995	519,995	415,996	103,999	0	0	0

支 出 先	契約業務名及び業務概要		支 出 額 (千円)		入札者数	落札率
	契約業務名	業務概要	うち交付金充当額	うち県負担金		
1 (株) 仲強造園土木	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託(H29-1)	業務概要 植栽管理業務	36,577	29,262	10社 (指名競争)	94.1%
2 本部造園(株)	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託(H29-2)	業務概要 植栽管理業務	27,432	21,946	9社 (指名競争)	94.6%
3 北部造園土木(株)	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託(H29-3)	業務概要 植栽管理業務	23,103	18,483	6社 (指名競争)	97.0%
4 (有) 仲本造園土木	契約業務名 北部管内フラワークリエイション業務委託(H29-4)	業務概要 植栽管理業務	12,887	10,309	8社 (指名競争)	95.8%
5 (有) 桂植木	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(H29-1)	業務概要 植栽管理業務	49,765	39,812	2社 (指名競争)	88.9%
6 金城グリーン	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(H29-2)	業務概要 植栽管理業務	38,174	31,019	5社 (指名競争)	88.9%
7 平宮産業(株)	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(H29-3)	業務概要 植栽管理業務	37,474	29,979	5社 (指名競争)	88.7%
8 (株) 丸和グリーンサービス	契約業務名 中部管内道路修景業務委託(H29-4)	業務概要 植栽管理業務	13,986	11,189	4社 (指名競争)	93.0%
9 (株) 平成造園	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(H29-5工区)	業務概要 植栽管理業務	33,890	27,112	8社 (指名競争)	97.1%
10 (有) 西原農園	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(H29-6工区)	業務概要 植栽管理業務	31,031	24,824	11社 (指名競争)	94.5%
11 (株) 橋原農園	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(H29-7工区)	業務概要 植栽管理業務	32,308	25,847	9社 (指名競争)	92.8%
12 社会福祉法人 伊集の木会	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(H29-8工区)	業務概要 植栽管理業務	10,195	8,156	1社 (随意契約)	100.0%
13 (有) 宮城錦水園	契約業務名 南部管内フラワークリエイション業務委託(H29-9工区)	業務概要 植栽管理業務	27,576	22,061	6社 (指名競争)	91.4%
14 (有) 大地造園	契約業務名 西宮管内道路修景業務委託(H29-2)	業務概要 植栽管理業務	17,269	13,815	6社 (指名競争)	94.2%
15 (株) 樹栄	契約業務名 西宮管内道路修景業務委託(H29-3)	業務概要 植栽管理業務	16,735	13,388	4社 (指名競争)	88.8%
16 社会福祉法人 みやこ福祉会	契約業務名 西宮管内道路修景業務委託(H29-4)	業務概要 植栽管理業務	6,372	5,098	1社 (随意契約)	89.5%
17 (株) ダイユウ建設	契約業務名 西宮管内道路修景業務委託(H29-5)	業務概要 植栽管理業務	14,623	11,699	3社 (指名競争)	92.0%
18 (有) 南西造園	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(H29-1)	業務概要 植栽管理業務	23,451	18,761	9社 (指名競争)	94.2%
19 おもと造園	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(H29-2)	業務概要 植栽管理業務	26,176	20,941	8社 (指名競争)	99.3%
20 協和緑建	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(H29-3)	業務概要 植栽管理業務	21,222	16,978	7社 (指名競争)	93.8%
21 (有) 新堀造園土木	契約業務名 石垣島管内道路修景業務委託(H29-5)	業務概要 植栽管理業務	19,148	15,319	8社 (指名競争)	88.2%

資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により実績を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。なお、随意契約による業務は、シルバー人材等の活用によるもので、軽易な業務となっている。 ○費目・用途については事業目的達成の観点から適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			